



電気主任技術者の方が 輝き続けるために

～たどり着いた一つのカタチ～

カフェジカ (Café 自家用電気)
株式会社ミズノワ
代表取締役 水島洋介



7月23日に行われました「祇園祭 × 電気書院 × カフェジカ」のコラボイベントについてミズノワの水島様がおまとめくださいました。全文は「電気計算」2022年11月号に掲載しますが、一部抜粋して紹介いたします。



祇園祭 × 電気書院
× カフェジカ
2022 電気屋台 夏の陣

「カフェジカさん、『祇園祭』のときに、電気書院京都支社の事務所前で、屋台の出店が可能なのですが、何かコラボできないでしょうか？」

電気書院の田中社長からお話をいただいた際、全く想像もしていなかった内容だったので、とてつもなく面食らいながらも、面白そうな話だし、何をするかなんて後回し！即座に「やりましょう！」とお答えしました。

二つ返事でその光栄かつ壮大なオファーに飛びついたはよいものの、どのような屋台にするか悩んでいました。

ただ、カフェジカの想いと、電気書院様の『取り入れたいスパイス』は共通しており、『これは、必ず取り入れよう』としていたことがありました。

それは、『社会貢献』という想いでした。

『電気』

『屋台』

『社会貢献』

全く相容れないこの三つのキーワードを成功させるお祭り。

【屋外スペース】

祇園祭を楽しむ一般の方々へ

- ・ 電気の大切さを味わう、『発電バチバチかき氷』の提供
- ・ 電気設備や主任技術者の仕事内容『真空遮断器・OCR やわか解説』のショー

【事務所スペース】

電験受験生応援

みんつく3種&2種一次『Q&Aイベント』への無料招待

手回し発電器をお客様に回していただき、多数のLED電球に光を灯し、発電量を画面に出力させることで発電そのものを楽しみながら、発電の労力、電気の大切さを感じていただきました。そして、発電量に応じて口の中でバチバチと弾ける謎スパイスを振りかけたかき氷を提供しました。

カフェジカから持参した、OCR(過電流試験器)とVCB(真空遮断器)の試験セットにて、『電気技術者のお仕事講座』を、私、水島とカフェジカ技術顧問のあきら博士とで展開していきました。

Zoomでの参加者も含め、朝9:30から16:30まで、ぶっとおしで電験の講義を行い続ける空間は、電験取得に向けた熱い思いに包まれていました。

電気技術者の方々を応援し、
技術、電気工学の発展を願い、
広く電気主任技術者の方が輝き続けられるため

我々は広く声を聴き、
不安や悩みを解決するための活動を続け、
新しい道を切り開き、
歩いていく姿を、これからもお見せしていきたい

そして、電気業界を一緒に盛り上げていければ嬉しく思います。

カフェジカ (Café 自家用電気)
株式会社ミズノワ
代表取締役 水島洋介

